

わしのねり

生産不足の
手漉き和紙の
原料『ねり』を
みんなで育てて、
和紙を世界へ



「わしのねり」プロジェクトでは、生産不足となっている手漉き和紙に不可欠な原料“ねり”を家庭で育て、埼玉県比企郡小川町の紙漉き職人さんと一緒に小川町和紙体験学習センターを活用して、世界に向けて和紙商品を開発いたします。一般家庭と原料生産農家、紙漉き職人が一体となって原料不足を克服し、手漉き和紙の存続の一步につながればと考えています。

クラウドファンディング実施中！

～5/16 月

詳細はこちら

CAMPFIRE

「わしのねり」プロジェクトの参加者及び支援者をクラウドファンディングにて募集しています。応援のほどどうぞよろしくお願いいたします！

リターンの一部となる開発商品を裏面でご紹介しています。



世界に評価されている

手漉き和紙の必需品「ねり」

薄くて丈夫で保存性が高いことで世界的に知られている日本の和紙ですが、この薄くて丈夫な和紙を作るには、原料となる

『ねり（トロロアオイ）』が必要不可欠です。

『ねり』は「トロロアオイ」という別名アジアンハイビスカスの根から採れる粘液です。

紙を漉く際に、ヌルヌルした『ねり』があることで、漉桁からすぐに水が落ちず、繊維が均等に絡まった和紙を作ることができます。

この『ねり（トロロアオイ）』の生産が全国的に不足しています。



トロロアオイの花



トロロアオイの根

本プロジェクト開発商品の一部



本商品は「わしのねり」プロジェクトで開発するクラウドファンディングのリターン商品です。
写真右：四季の草花を刷り込んだ「四季帖」
写真左：トラベルノート「万覚帖」

